

事業名：交通対策管理経費

企画課 企画係

政策	01 自然・環境			戦略					
取組の 基本方針	01 人と自然の共生			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成22年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
野幌森林公園内基線道路一般車両通行者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
野幌森林公園内基線道路の入り口等に看板を設置し、交通量について測定する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
一般車両の通行を抑制することにより自然環境の保全が図られる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	江別市民	人	119,587	119,250	119,250	118,979
対象指標 2						
活動指標 1	通行抑制看板設置数	枚	4	4	4	4
活動指標 2	交通量調査	回	1	1	1	1
成果指標 1	交通量（自動車）	台	46	39	39	39
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	20	24	22	34
正職員人件費 (B)		千円	1,165	1,534	1,155	1,158
総事業費 (A+B)		千円	1,185	1,558	1,177	1,192

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 交通量調査（年1回） 関係車両証更新（地元自治会用） 	<ul style="list-style-type: none"> 交通量調査経費 22千円 関係車両証更新経費 12千円（隔年実施）

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：都市景観創出事業

都市計画課 計画係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和62年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> 企画展の開催と景観パンフレットの発行により、景観に関する啓発・情報発信を行う。 3年毎に都市景観賞を開催し、市民や企業などによる優れた景観創出・活動に対する表彰を行う。 美原大橋のライトアップを行い、江別市の特色ある都市景観の創出を図る。（節電に伴い、24年度7月より休止） 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
都市景観に対する意識の高揚と、江別らしい景観づくりへの理解と関心を高める。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市民	人	119,587	119,250	119,250	118,979
対象指標 2						
活動指標 1	企画展の開催日数	日	21	21	21	21
活動指標 2	美原大橋ライトアップ日数	日	0	0	0	0
成果指標 1	企画展参加者数	人	416	436	450	450
成果指標 2		件				
事業費 (A)		千円	647	745	162	247
正職員人件費 (B)		千円	3,494	6,136	770	1,544
総事業費 (A+B)		千円	4,141	6,881	932	1,791

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり彩々展の開催 フォトコンテストの開催 	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり彩々展の開催経費 99千円 フォトコンテストの開催経費 85千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
30年度への改善方向性	都市景観に対する意識の更なる高揚と、特に若い世代の江別の景観に対する関心を高めるために、SNSを利用し都市景観賞受賞施設や活動を対象としたフォトコンテストを開催する。	改革方向性（成果）	減少	維持	増加
維持					
見直し					○
新規					
休止					
廃止					
その他					

事業名：大麻地区住環境活性化事業

政策推進課参事（住環境活性化）

政策	05 都市基盤			戦略	3 次世代に向けた住みよいえつづくり				
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト	B 駅を中心とした暮らしやすいまちづくり（えつ版コンパクトなまちづくり）				
				プログラム	③ 高齢者等がいいきと活動しやすい居住環境の充実				
開始年度	平成22年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
大麻・文京台地区の住民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・住まいに関する相談窓口の設置等により、住民の高齢化や家屋の老朽化等が進む大麻地区全体における高齢者の住み替えや空家の利活用による子育て世代の移住を進めるため、住環境の活性化に向けた取組を行う。 ・大麻地区の課題に取り組む市民組織である「江別市安心生活まちづくり推進事業運営協議会」の活動を支援する。 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
高齢者や子育て世代を含む多様な方々にとって住みやすい住環境の整備に向けた取組やまちづくり活動等を支援することで、住み替えや空家の利活用が促進される。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	大麻・文京台地区の人口	人	28,631	28,656	28,656	28,782
対象指標 2						
活動指標 1	まちづくり活動等の事業数	件	5	3	3	3
活動指標 2						
成果指標 1	住まい相談件数	件	5	15	15	30
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	1,695	5,174	6,163	5,977
正職員人件費 (B)		千円	7,764	12,272	9,244	10,811
総事業費 (A+B)		千円	9,459	17,446	15,407	16,788

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・住み替え支援相談窓口の運営 ・ニュースレター、HPによる情報発信 ・セミナー開催などのまちづくり活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊の報酬等 4,643千円 ・消耗品費等 327千円 ・ニュースレター発行・配布 217千円 ・電話代等 75千円 ・車両、パソコン等管理運営経費 715千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：生活バス路線運行補助事業

政策推進課参事（公共交通）

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
生活バス路線事業者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
「江別市生活バス路線運行費補助金交付要綱」に基づき、国や道の補助対象とならない市内完結バス路線を対象として、事業費の収支差に対する補助金を交付する。 概要：1路線につき上限額1,000万円 要件：運行回数1日1回以上、輸送量5人以上、運行キロ程5km以上									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ul style="list-style-type: none"> 生活バス路線の運行が維持される。 交通弱者の移動の利便性が確保される。 									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標1	バス路線数（系統数）	系統	30	29	29	29
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	4,058	2,000	30,000	30,000
活動指標2	補助対象バス路線数	路線	3	2	3	3
成果指標1	バス路線の廃止数（系統数）	系統	4	1	0	0
成果指標2						
事業費（A）		千円	4,058	2,000	30,000	30,000
正職員人件費（B）		千円	1,553	2,301	2,311	2,317
総事業費（A+B）		千円	5,611	4,301	32,311	32,317

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	バス路線運行費に対し補助金を支出	バス路線運行費への補助金 30,000千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
30年度への改善方向性		減少	維持	増加	
維持					
見直し					
新規			○		
休止					
廃止					
その他					
		改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名：豊幌駅舎共同管理経費（補助金）

政策推進課参事（公共交通）

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和59年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
豊幌地区の住民	
手段（事務事業の内容、やり方）	
「豊幌駅業務運営費補助要綱」に基づき、豊幌駅の管理運営を行う自治会に対し、当該管理運営経費の一部を予算の範囲内で補助する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
豊幌駅に管理人が配置されることにより、駅利用者の利便性、安全性が確保される。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	豊幌地区の人口	人	2,700	2,673	2,673	2,631
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	550	550	550	550
活動指標 2						
成果指標 1	豊幌駅の利用に関する苦情件数	件	0	0	0	0
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	550	550	550	550
正職員人件費 (B)		千円	776	767	770	772
総事業費 (A+B)		千円	1,326	1,317	1,320	1,322

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	駅業務運営に対し補助金を支出	駅業務運営への補助金 550千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
30年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			
見直し			維持		○	
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：公共交通利用促進対策事業

政策推進課参事（公共交通）

政策	05 都市基盤			戦略	3 次世代に向けた住みよいいつづくり				
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト	B 駅を中心とした暮らしやすいまちづくり（えべつ版コンパクトなまちづくり）				
				プログラム	② 交通ネットワークの充実				
開始年度	平成25年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・江別市地域公共交通活性化協議会（市、公共交通事業者、公共交通利用者、学識経験者等で構成）において地域公共交通網形成計画及び地域公共交通再編実施計画を作成し、両計画に基づくバス路線再編や利用促進策を実施する。 ・上記協議会を開催し、両計画の推進状況の確認及び評価を行う。 ・市民に対して、バス路線マップの配布や市ホームページ・広報誌による情報発信を引き続き行うほか、地域公共交通網形成計画に基づき、より効果的な公共交通の利用促進策等を実施する。 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
交通機能を維持・確保することに加え、情報提供の強化等を図ることにより、利用が促進される。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市民	人	119,587	119,250	119,250	118,979
対象指標 2						
活動指標 1	利便性向上や利用促進等のために行った事業数	件	4	4	4	4
活動指標 2						
成果指標 1	バス輸送人員	千人	554	610	523	523
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	13,616	4,578	12,927	5,521
正職員人件費 (B)		千円	10,093	12,272	10,014	11,583
総事業費 (A+B)		千円	23,709	16,850	22,941	17,104

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通活性化協議会の開催 ・地域公共交通網形成計画等の作成 ・市内バス路線の再編 ・バスの利用促進、利用啓発等 ・郊外部における新たな交通手段導入の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通網形成計画の推進等委託料 3,975千円 ・郊外部における新たな交通手段検討委託料 907千円 ・地域公共交通活性化協議会の開催 455千円 ・バス路線マップの作成 184千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

改革方向性（成果）	向上			
	維持	○		
	低下			

事業名： 大学連携調査研究助成事業

企画課 企画係

政策	08 協働			戦略	1 ともにつくる協働のまちづくり					
取組の 基本方針	01 協働のまちづくりの推進			プロジェクト	B 大学が活躍するまちづくり					
				プログラム	① 大学の得意分野を活かした地域の活性化					
開始年度	平成21年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	政策的補助	

事務事業の目的と成果										
対象（誰、何に対して事業を行うのか）										
市内4大学（酪農学園大学、北翔大学（短期大学部を含む）、札幌学院大学、北海道情報大学）の教員及び教員を中心とした団体。										
手段（事務事業の内容、やり方）										
第6次江別市総合計画の「えべつ未来戦略」に関わる事業等で、市内4大学に所属する教員が行う江別市の課題解決や地域活性化に貢献する調査研究事業に対し、大学連携調査研究事業補助金を交付する。 【根拠要綱】江別市大学連携調査研究事業補助金交付要綱 【補助率及び上限額】補助対象経費の全額又は一部について、1,000千円を上限に補助										
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
市内4大学の教員及び教員を中心とした団体に対して補助金を交付し、地域の課題解決につながる具体性・実用性の高い調査研究を実施できるようにする。また、大学の研究等を地域の課題解決に生かす。										

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標1	市内4大学所属教員数（短大含む）	人	475	475	475	474
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	2,937	2,697	3,000	2,800
活動指標2						
成果指標1	補助事業件数	件	5	5	5	5
成果指標2						
事業費(A)		千円	2,954	2,721	3,039	2,839
正職員人件費(B)		千円	3,106	3,452	3,081	3,089
総事業費(A+B)		千円	6,060	6,173	6,120	5,928

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 市内4大学の教員が行う江別市の地域課題や地域活性化に貢献する調査研究事業に対し補助金を交付する。 前年度の補助事業について、報告会を開催する。 	江別市大学連携調査研究事業補助金 2,800千円 大学連携事業報告会会場使用料 39千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：大学連携学生地域活動支援事業

企画課 企画係

政策	08 協働			戦略	1 ともにつくる協働のまちづくり				
取組の基本方針	01 協働のまちづくりの推進			プロジェクト	B 大学が活躍するまちづくり				
				プログラム	③ 学生の力を活かしたまちづくり				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内4大学（酪農学園大学、北翔大学（短期大学部を含む）、札幌学院大学、北海道情報大学）に所属する学生団体									
手段（事務事業の内容、やり方）									
市内4大学に所属する学生団体が行う、自主的な取組による地域住民とのふれあいやまちづくりに関する事業（環境活動、地域福祉、教育及び文化、観光及び産業、その他まちづくりに関する事業）に対し、補助金を交付する。 【根拠要綱】江別市大学連携学生地域活動支援事業補助金交付要綱 【補助率及び上限額】補助対象経費の全額又は一部について、100千円を上限に補助									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市内4大学に在学する学生が、江別市民の一員としての意識を持つことが、地域と大学による協働のまちづくりにつながることから、市の補助により、学生が自主的に、地域住民とのふれあいやまちづくりに関する取組を実施できるようにする。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標1	市内4大学に在学する学生数（短期大学部含む）	人	10,305	9,991	9,991	9,722
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	291	300	300	400
活動指標2						
成果指標1	補助事業本数	件	6	6	6	7
成果指標2	補助事業申請件数	件	0	0	0	8
事業費(A)		千円	291	327	300	425
正職員人件費(B)		千円	3,106	3,452	3,081	3,861
総事業費(A+B)		千円	3,397	3,779	3,381	4,286

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	・市内4大学に所属する学生が行う、自主的な取り組みによる地域住民とのふれあいやまちづくりに関する事業に対し、補助金を交付する。	大学連携学生地域活動支援事業補助金 400千円 えべつ未来づくり学生コンペティション 実行委員会負担金 25千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他	減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：大学版出前講座支援事業

企画課 企画係

政策	08 協働			戦略	1 ともにつくる協働のまちづくり				
取組の 基本方針	01 協働のまちづくりの推進			プロジェクト	B 大学が活躍するまちづくり				
				プログラム	① 大学の得意分野を活かした地域の活性化				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民・市内4大学（酪農学園大学、北翔大学（短期大学部を含む）、札幌学院大学、北海道情報大学）									
手段（事務事業の内容、やり方）									
市内4大学の研究機能を発揮し、協働のまちづくりを推進するため、地域活性化・地域課題解決の研究成果や大学の特色を生かしたテーマにおいて、講師が地域に向いて実施する出前講座を支援する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
講座開催を通じて、各大学は、日頃の研究や取組みについて市民に知ってもらえる機会を得るとともに、参加した市民は様々な知識に触れる機会を得る。また、このことを通して大学と市民の相互理解が促され、協働のまちづくりの実現につながる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標1	出前講座講師登録者数	人	64	61	61	61
対象指標2						
活動指標1	出前講座実施件数	件	5	8	5	5
活動指標2						
成果指標1	出前講座参加者数	人	461	248	100	100
成果指標2						
事業費(A)		千円	0	40	35	35
正職員人件費(B)		千円	3,106	3,068	3,081	2,317
総事業費(A+B)		千円	3,106	3,108	3,116	2,352

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 出前講座受付及び大学との調整 事業の周知、PR（パンフレットの作成配布、ホームページ、広報等） 講座資料の印刷 	講座パンフレット、配布資料印刷経費 35千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				
	改革方向性（成果）			
	向上			
	維持	○		
	低下			

事業名： 学生地域定着自治体連携事業

企画課 企画係

政策	08 協働			戦略	1 ともにつくる協働のまちづくり				
取組の基本方針	01 協働のまちづくりの推進			プロジェクト	B 大学が活躍するまちづくり				
				プログラム	③ 学生の力を活かしたまちづくり				
開始年度	平成27年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内4大学（酪農学園大学、北翔大学（短期大学部を含む）、札幌学院大学、北海道情報大学）に所属する学生									
手段（事務事業の内容、やり方）									
連携する自治体（江別市、芦別市、赤平市、三笠市、南幌町、由仁町、長沼町、栗山町）の各地域へ市内4大学の学生を就業・定住させるため、学生地域定着推進広域連携協議会を運営し、市内で実施する地域活動プログラム（インターンシップ、ワークショップ、地域イベント参画など）へ学生が参加するための支援を行う。支援の手段は、地域活動プログラムと学生のマッチングや、交通費等の支給を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市内4大学の学生が地域の魅力を知り、将来的に市内で就業・定住することを目的に、地域活動プログラムに参加する学生の増加を図る。また、協議会の運営を通じて、連携する各自治体への就業・定住についても実現を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標1	市内大学に在学する学生数（短期大学部含む）	人	0	9,991	9,991	9,722
対象指標2	協議会加入自治体数	団体	0	8	8	8
活動指標1	地域活動等実施プログラム数	件	0	27	26	27
活動指標2						
成果指標1	市内の地域活動等に参加した延べ学生数	人	0	482	500	550
成果指標2	参加者のうち市内へ就業した者の人数	人	0	0	0	1
事業費 (A)		千円	0	3,617	3,372	3,462
正職員人件費 (B)		千円	0	7,670	7,703	7,722
総事業費 (A+B)		千円	0	11,287	11,075	11,184

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 学生地域定着推進広域連携協議会の運営 学生地域活動プログラムへの参加支援 	<ul style="list-style-type: none"> 学生地域定着推進広域連携協議会負担金 3,372千円 消耗品等 60千円 一般使用料賃借料 30千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名： 男女の出会いの場づくり支援事業 企画課 企画係

政策	08 協働			戦略					
取組の 基本方針	01 協働のまちづくりの推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成27年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内の未婚者（25～44歳）									
手段（事務事業の内容、やり方）									
市内関係機関等との連携協力により、独身の男女の出会い、交流の場を提供するイベントを開催する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
独身の男女の出会いの場づくりを支援する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	未婚者数（25～44歳）（国勢調査結果）	人	0	9,335	9,335	9,335
対象指標 2						
活動指標 1	イベントの実施回数	回	0	2	2	1
活動指標 2						
成果指標 1	イベントへの参加人数	人	0	69	80	40
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	893	800	510
正職員人件費 (B)		千円	0	3,835	2,311	1,158
総事業費 (A+B)		千円	0	4,728	3,111	1,668

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	独身男女の出会いを支援する交流イベントを開催	イベント開催委託料 500千円 成婚記念品代 10千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性	平成28～29年度は夏季と冬季の年2回実施しているが、冬季は開催場所などの制約も多いことから、平成30年度は夏季イベントに集約し、1回当たりのイベント参加人数を増やすことにより（30人⇒40人）、効果的にイベントを開催することとする。	減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他		○		

事業名：国際交流情報提供事業

秘書課 秘書係

政策	08 協働			戦略					
取組の基本方針	02 国際交流の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成10年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
<ul style="list-style-type: none"> ・市民 ・市内通勤、通学者 									
手段（事務事業の内容、やり方）									
日本語に堪能で地域の国際化事業に理解と意欲のある外国人を市国際交流員（CIR）として継続的に雇用し以下の事業を実施する。 1. 文書、刊行物等の翻訳、監修 2. 国際交流事業の企画、立案、実施協力 3. 地域住民・市職員に対する語学指導への協力 4. 地域住民の異文化理解交流活動への協力 5. 海外との連絡・調整、通訳、訪問客の接遇 6. 在住外国人へのサポート									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
1. 地域住民等に国際感覚や国際意識を持ってもらう 2. 地域住民等に異文化に対する理解を深めてもらう 3. 在住外国人にも住みやすい街にする									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標1	市民	人	119,587	119,250	119,250	118,979
対象指標2						
活動指標1	国際交流員が係った地域国際化のための講座・イベント等開催回数	回	127	142	80	140
活動指標2	海外と江別市とで交わした行政文書等の数	通	650	810	600	600
成果指標1	国際交流員が係った地域国際化のための講座・イベント等の参加者数	人	1,096	1,207	1,100	1,250
成果指標2						
事業費(A)		千円	4,975	5,617	5,659	5,653
正職員人件費(B)		千円	1,165	1,151	1,155	1,158
総事業費(A+B)		千円	6,140	6,768	6,814	6,811

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・各種講演（出前講座、語学教室） ・刊行物等の翻訳 ・市ホームページの作成、更新 ・国際交流事業の協力助言 ・姉妹都市グレスヤム市との連絡調整、文書作成等 ・在住外国人への情報提供 外 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流員報酬 5,400千円 ・国際交流員費用弁償（旅費外） 244千円 ・パンフレット等作成経費 9千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：江別国際センター施設管理費等補助金 秘書課 秘書係

政策	08 協働			戦略					
取組の 基本方針	02 国際交流の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 8年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市国際交流推進協議会									
手段（事務事業の内容、やり方）									
江別市内の各国際交流団体等で構成された組織である「江別市国際交流推進協議会」に対し、同協議会が管理・運営している「江別国際センター」の事業運営費の一部を補助する。 補助金内訳：テナント賃借料、光熱水費、スタッフ人件費									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
国際交流施設が安定的に運営される。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	江別市国際交流推進協議会の構成団体数	団体	21	21	21	21
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	3,362	3,447	3,352	3,196
活動指標 2						
成果指標 1	利用者数	人	10,921	10,947	11,000	11,100
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	3,362	3,447	3,352	3,196
正職員人件費 (B)		千円	1,242	1,227	1,232	1,158
総事業費 (A+B)		千円	4,604	4,674	4,584	4,354

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	以下の事業を実施する江別市国際交流推進協議会に対し、活動拠点となる江別国際センターの施設維持管理のための補助金を支出する。 ・外国人との交流イベントの実施 ・英語、韓国語などの外国語講座 ・会報、ホームページ等での広報 ・外国人に対するホームステイや通訳などのサポート支援	江別国際センター施設維持管理に対する補助金 3,196千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

改革方向性（成果）	向上			
	維持	○		
	低下			

事業名：江別市都市提携委員会補助金

秘書課 秘書係

政策	08 協働			戦略						
取組の 基本方針	02 国際交流の推進			プロジェクト						
				プログラム						
開始年度	昭和52年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市都市提携委員会									
手段（事務事業の内容、やり方）									
姉妹・友好都市交流を行う江別市都市提携委員会に対し、その事業費を補助する。 補助金内訳：学生及び市民派遣費、交換学生等受入費									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
江別市都市提携委員会に補助を行うことで、当委員会が以下の成果をあげることができる。 1.異文化を理解し、広い視野をもった市民を増やす 2.市民ボランティアとして活躍出来る人を増やす 3.姉妹・友好都市との交流を通じて自分のまちの歴史や状況を客観的に理解し、郷土を愛する心を育むとともに、国際感覚を身につけ国際社会に貢献できることを目指す									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	江別市都市提携委員会委員数	人	44	44	44	44
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	400	500	500	450
活動指標 2						
成果指標 1	姉妹都市・友好都市派遣人数	人	3	4	4	3
成果指標 2	姉妹都市・友好都市受入人数	人	3	3	4	3
事業費 (A)		千円	400	500	500	450
正職員人件費 (B)		千円	388	384	385	386
総事業費 (A+B)		千円	788	884	885	836

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	以下の事業を実施する江別市都市提携委員会に対し補助金を支出する。 ・姉妹都市グレシャム市との高校生相互派遣 ・姉妹都市、友好都市を訪問する団体への助成 ・姉妹都市、友好都市に関する市民PR ・国際交流イベントへの参加及び展示物等出展協力 ・友好都市土佐市訪問団との交流	江別市都市提携委員会への補助金 450千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				
	改革方向性（成果）	向上	維持	低下
				○

事業名：友好都市提携40周年記念事業

秘書課 秘書係

政策	08 協働			戦略			
取組の基本方針	02 国際交流の推進			プロジェクト			
				プログラム			
開始年度	平成30年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	補助金

事務事業の目的と成果							
対象（誰、何に対して事業を行うのか）							
江別市民、土佐市民							
手段（事務事業の内容、やり方）							
友好都市提携40周年を記念した記念式典・祝賀会等の開催							
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）							
市民の友好都市に対する理解を深め、今後の都市間交流の充実と円滑化を図る。							

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標1	江別市民、土佐市民	人	0	0	0	146,473
対象指標2						
活動指標1	事業費	千円	0	0	0	925
活動指標2						
成果指標1	記念式典・祝賀会の参加者数	人	0	0	0	130
成果指標2						
事業費(A)		千円	0	0	0	925
正職員人件費(B)		千円	0	0	0	2,317
総事業費(A+B)		千円	0	0	0	3,242

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	友好都市提携40周年記念事業（土佐市訪問団受入） ・記念式典・祝賀会の開催 ・記念植樹の実施	土佐市訪問団受入経費 925千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性	土佐市との友好都市提携が平成30年に40周年を迎えることから、この節目を祝福するとともに、両市の絆を深めるために、土佐市からの訪問団を受入れ、記念式典・祝賀会等を開催する。	減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：行政改革推進事業

政策推進課 主査（政策推進）

政策	09 計画推進			戦略					
取組の基本方針	01 自主・自立の市政運営の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市職員									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> 行政改革大綱に基づく行政改革推進計画を実施する。 行政改革推進委員会を開催し、行政改革に関する意見や助言を求める。 次期行政改革推進計画の検討、策定を行う。 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
・市職員が高い意識を持って、行政改革に取り組んでいる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市職員数	人	1,158	1,160	1,158	1,160
対象指標 2						
活動指標 1	行政改革推進委員会開催回数	回	1	2	2	4
活動指標 2	行革関連事業等開催回数	回	5	5	5	7
成果指標 1	行政改革取組項目数	件	26	26	26	26
成果指標 2	行革関連事業参加者数	人	157	111	130	120
事業費 (A)		千円	85	116	141	268
正職員人件費 (B)		千円	3,882	4,219	3,466	3,475
総事業費 (A+B)		千円	3,967	4,335	3,607	3,743

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	・行政改革推進委員会の開催	・行政改革推進委員会開催経費 268千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：行政評価・外部評価推進事業

政策推進課参事（総合計画・総合戦略）

政策	09 計画推進			戦略					
取組の基本方針	01 自主・自立の市政運営の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成16年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
<ul style="list-style-type: none"> ・市職員 ・市民 									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・評価調書の作成など、事務事業を基礎とする行政評価を行う。 ・行政評価にかかる指標把握等のため、市民アンケート調査を実施する。 ・行政評価を行う職員の技能向上を目的として、庁内説明会や研修会を開催する。 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
・行政評価の手法を用いて、PDCAサイクルによる総合計画の推進が図られる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市職員数	人	1,158	1,160	1,158	1,160
対象指標 2	市民数	人	119,587	119,250	119,250	118,979
活動指標 1	行政評価説明会等開催回数	回	3	2	2	2
活動指標 2	外部評価委員会開催回数	回	6	6	10	0
成果指標 1	まちづくり政策にかかる成果指標の目標達成割合	%	54.2	64.9	100	100
成果指標 2	計画的に成果が上がっている事務事業の割合	%	90.4	92.3	100	100
事業費 (A)		千円	2,817	2,824	3,342	2,800
正職員人件費 (B)		千円	10,481	11,505	9,244	9,266
総事業費 (A+B)		千円	13,298	14,329	12,586	12,066

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	市民アンケートの実施 庁内研修会の実施	市民アンケート実施経費 2,784千円 庁内研修会開催経費 16千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止 その他				

事業名： 広域行政推進事業

企画課 企画係

政策	09 計画推進			戦略					
取組の 基本方針	01 自主・自立の市政運営の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 9年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
札幌広域圏組合構成市町村（札幌市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村）を中心とした広域圏域の住民、行政機関。									
手段（事務事業の内容、やり方）									
札幌広域圏市町村が実施する協力連携事業に負担金を支払う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
圏域市町村にまたがる具体的な共同ソフト事業を実施することにより、圏域全体の行政課題解決や圏域全体の振興を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	構成市町村数	市町村	8	8	8	8
対象指標 2						
活動指標 1	札幌広域圏組合負担金額	千円	598	598	585	571
活動指標 2						
成果指標 1	研修事業参加職員数（構成市町村）	人	169	162	169	162
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	598	598	585	571
正職員人件費 (B)		千円	2,329	2,685	2,696	2,703
総事業費 (A+B)		千円	2,927	3,283	3,281	3,274

30年度	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
	<ul style="list-style-type: none"> 研修事業（共同研修事業、新規職員後期研修事業） 首都圏PR事業 移住促進事業 他 	札幌広域圏組合負担金 571千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
30年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他		減少	維持	増加
向上					
維持				○	
低下					

事業名： 広聴活動事業

広報広聴課 広報広聴係

政策	09 計画推進			戦略					
取組の 基本方針	02 透明性と情報発信力の高い市政の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
・ 市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
・ 現状の広聴手段である①面談、②広聴箱、③郵便、④電話、⑤FAX、⑥Eメール、⑦施設見学会、⑧市民アンケート、⑨各種懇談会、⑩パブリックコメントの利用増、機会の拡充を図るとともに、それらの有効性の検証を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
・ 市政に対する市民の意見、要望、提言等を伝える媒体を整備することで、市民が市政に関する意見を伝えやすくなる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市民	人	119,587	119,250	119,250	118,979
対象指標 2						
活動指標 1	市民が市へ意見や要望を伝える手段の数	個	10	10	10	10
活動指標 2						
成果指標 1	1年間に寄せられた意見や要望の件数（陳情・要望・市民の声）	件	279	289	288	270
成果指標 2	1年間に寄せられた意見や要望の件数（パブリックコメント）	件	106	142	153	128
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	4,658	4,602	5,392	5,405
総事業費 (A+B)		千円	4,658	4,602	5,392	5,405

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	・ 市民からの意見・要望を所管課に伝え、市政に反映させる。	・ 人件費事業

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名： 広報えべつ発行事業

広報広聴課 広報広聴係

政策	09 計画推進			戦略					
取組の 基本方針	02 透明性と情報発信力の高い市政の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
<ul style="list-style-type: none"> ・市民 ・世帯 									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・ A4判1色刷（表・裏表紙はカラー印刷）、月平均28ページ、毎月1日付、年12回発行。 ・ 編集の一部及び印刷、製本については業務委託し、発行に係る企画、取材、編集、版下作成を直接職員が行う。 ・ 配布については、自治会に郵送し各戸配布を依頼している他、ホームページへの掲載、自治会未加入者等のために市内の大学、公共施設、JR駅、郵便局、大学・企業の寮、コンビニ、スーパー、病・医院、理容院等にも設置。 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市政の基本方針を始め、業務・事業紹介、制度改革、市民活動団体の紹介等、市民生活に係る事項について市民に周知される。 									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市民	人	119,587	119,250	119,250	118,979
対象指標 2	世帯数	世帯	55,530	56,047	56,047	56,456
活動指標 1	月平均作成部数	部	47,205	47,205	47,200	47,200
活動指標 2	広報配布箇所数	箇所	282	277	278	271
成果指標 1	配布率	%	83.7	82.9	84.3	83.7
成果指標 2	広報えべつを読んでいる市民の割合	%	88.5	86.1	88.5	86.1
事業費 (A)		千円	13,131	13,582	13,902	14,133
正職員人件費 (B)		千円	11,646	11,505	11,555	11,583
総事業費 (A+B)		千円	24,777	25,087	25,457	25,716

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	・ 広報えべつの発行	・ 広報えべつ作成経費 14,133千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名： ウェルカム江別事業

広報広聴課 広報広聴係

政策	09 計画推進			戦略	4 えべつの魅力発信シティプロモート				
取組の基本方針	02 透明性と情報発信力の高い市政の推進			プロジェクト	A ニーズにあわせた効果的な情報発信				
				プログラム	③ 江別市に住んでもらうための生活情報の発信				
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
<ul style="list-style-type: none"> 江別市外在住でこれから移住・定住を考える子育て世帯 江別市民のうち移住・定住を考える世帯 									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> 江別市の魅力をPRするパンフレット及びホームページを作成・運営し、情報発信する。（パンフレット等） えべつのじかん：子育て支援や教育、市外へのアクセスなど江別の住みやすさをPRした冊子 江別生活ガイドブック：転入者向けの生活情報をまとめた冊子 えべつタウンマップ：市内各施設や観光スポットのPRを含む地図 市勢要覧：市の経済や資源、人口などの情勢についてまとめた冊子 ホームページ えべつのじかんページ：移住を考える世帯向けの情報を集約したページ プロモーション動画：江別の魅力を伝える15秒のCM動画 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ul style="list-style-type: none"> パンフレット及びホームページを充実させ、道内外に発信することで、江別の認知度を向上させ、江別市外在住で江別をよく知らなかった人にも、移住候補先としての江別市を認知してもらう。 情報発信により江別の観光情報や生活情報に触れる機会が増え、関心度の向上により江別を身近に感じることでイメージアップにつながり、定住先としての江別という認識を向上させる。 									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	江別市内外の移住・定住を考える世帯（把握困難）	人	0	0	0	0
対象指標 2						
活動指標 1	パンフレット等作成部数	部	33,000	33,000	36,000	19,000
活動指標 2	ホームページ更新回数（年間）	回	28	23	12	12
成果指標 1	パンフレット等配布部数（年間）	部	33,000	33,000	36,000	19,000
成果指標 2	ホームページのアクセス件数（年間ページビュー）	件	19,750	14,394	25,400	20,700
事業費（A）		千円	2,801	2,542	8,581	1,756
正職員人件費（B）		千円	2,329	2,301	3,081	3,089
総事業費（A+B）		千円	5,130	4,843	11,662	4,845

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 江別の良さをPRするパンフレットの作成 移住者への生活情報をまとめた冊子の作成 市内全域のマップの作成 市勢要覧の作成 プロモーション動画の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 江別の良さをPRするパンフレット作成経費 3,000部 624千円 移住者への生活情報をまとめた冊子作成経費 3,000部 157千円 市内全域のマップ作成経費 10,000部 459千円 市勢要覧作成経費 3,000部 191千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
30年度への改善方向性	・これまでは札幌市内（江別近郊の5区）にある幼稚園等の全保護者向けに送付するため20,000部を発行し、「子育て世代」という単位で幅広く配布していたが、平成30年度より、現状の効果を維持しつつ事業費の削減を図るため、本事業が目的とする対象者を絞り込み、より移住・定住を考えている世帯に情報が届くよう、住宅取得支援事業との連携を図って効率的な配布を行う。	減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上		
見直し			維持	○	
新規			低下		
休止					
廃止					
その他					

事業名：ホームページ運営事業

広報広聴課 広報広聴係

政策	09 計画推進			戦略					
取組の基本方針	02 透明性と情報発信力の高い市政の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
・ 市民および江別市の情報を必要としているインターネット利用者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
・ 市公式ホームページによる市政情報やイベント情報などの提供									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
・ 市政情報などを迅速かつ分かりやすく提供することで、市と市民が行政情報を共有する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	インターネット利用者数（測定不能）	人	0	0	0	0
対象指標 2						
活動指標 1	情報更新回数（年間）	件	4,308	4,639	3,700	4,300
活動指標 2						
成果指標 1	ホームページアクセス数（年間）	回	4,619,130	4,612,746	4,947,000	4,821,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	664	710	713	713
正職員人件費 (B)		千円	7,764	7,670	7,703	7,722
総事業費 (A+B)		千円	8,428	8,380	8,416	8,435

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	・ 市ホームページの管理・運営	・ コンテンツ管理システムの保守運営経費 665千円 ・ コンテンツ管理システムの回線使用料等 48千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：えべつシティプロモーション事業

政策推進課 主幹（シティプロモート）

政策	09 計画推進			戦略	4 えべつの魅力発信シティプロモート				
取組の基本方針	02 透明性と情報発信力の高い市政の推進			プロジェクト	A ニーズにあわせた効果的な情報発信				
				プログラム	④ 江別市のイメージづくり				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市外居住者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・市内大学・企業・経済団体などとともに市のプロモーション（売り込みや知名度向上）のための推進組織（江別シティプロモート推進協議会）を設置し、官民一体的なプロモーションを検討の上、江別の魅力を発信するイベント等の推進プロジェクトを実践する。 ・市民等がブログで江別の情報を発信する仕組みづくり（江別市民ブロガーズ）など、まちのイメージを高めるための戦略的な取組を構築する。 ・印刷物やホームページをはじめインスタグラムやフェイスブックなどのSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）の活用など、状況に合せた効果的な情報発信を検討の上、実施する。 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
江別シティプロモート推進協議会における官民一体的なプロモーション、まちのイメージを高めるための戦略的な取組、多様な情報発信の実践を通して、積極的に江別市の魅力をPRし、江別市に対する認知度、イメージを向上させる。認知度やイメージの向上は、企業誘致、観光や転入促進など市外の対象に働きかける様々な活動を効果的・効率的に推進するために必要な要素である。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市外居住者	千人	126,975	126,814	126,811	126,811
対象指標 2						
活動指標 1	推進プロジェクト等の活動回数	回	10	15	15	10
活動指標 2						
成果指標 1	江別市の認知度の道内順位	位	21	20	18	18
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	4,232	3,783	4,923	3,878
正職員人件費 (B)		千円	7,764	9,971	9,244	15,444
総事業費 (A+B)		千円	11,996	13,754	14,167	19,322

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「食」を核としたプロモーション活動（フリーペーパーの活用など） ・子育てママ向けプロモーション（セミナー開催など） ・江別市シティプロモート推進協議会の運営と推進プロジェクト実践活動（ワークショップ開催、ウェブサイト・SNSの運営など） ・ネットメディア向け市内PRツアー 	<ul style="list-style-type: none"> ・「食」を核としたプロモーション活動 843千円 ・子育てママ向けプロモーション（セミナー開催など） 1,314千円 ・江別市シティプロモート推進協議会の運営と推進プロジェクト実践活動 1,033千円 ・ネットメディア向け市内PRツアー 486千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
30年度への改善方向性	江別の都市イメージの普及に向けて市外への直接的な発信を強化する		減少	維持	増加
維持		向上			○
見直し		維持			
新規		低下			
休止					
廃止 その他					

事業名：北海道移住促進事業

企画課 企画係

政策	99 政策の総合推進			戦略					
取組の 基本方針	01 政策の総合推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
移住検討者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
北海道移住促進協議会に参加し、首都圏に住む団塊の世代等をメインターゲットに、プロモーション活動を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
江別市の住みやすさが的確に伝わることで、移住促進が図られる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	全国総人口	千人	127,095	126,933	126,930	126,933
対象指標 2						
活動指標 1	プロモーション活動回数	回	1	3	2	2
活動指標 2						
成果指標 1	移住に関する問合せ件数	件	12	18	10	10
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	50	50	50	50
正職員人件費 (B)		千円	2,329	2,301	2,311	2,317
総事業費 (A+B)		千円	2,379	2,351	2,361	2,367

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・移住ワンストップ窓口 ・イベント（首都圏移住フェア等）でのパンフレット配布 	北海道移住促進協議会負担金 50千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：えべつ冬季イベント事業

企画課 企画係

政策	99 政策の総合推進			戦略					
取組の 基本方針	01 政策の総合推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和56年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
青年会議所をはじめ、市内各種団体、市内大学生等と実行委員会を組織し、冬季イベントを開催する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
雪を素材とした市民交流・親子のふれあいの場を提供する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市民	人	119,587	119,250	119,250	118,979
対象指標 2						
活動指標 1	実行委員会予算額	千円	3,248	3,415	3,248	3,555
活動指標 2						
成果指標 1	来場者数	人	20,000	22,000	20,000	20,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	2,329	2,301	2,311	2,317
総事業費 (A+B)		千円	2,329	2,301	2,311	2,317

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	冬季イベント実行委員会の運営及び冬季イベント（スノーフェスティバル）の開催	人件費事業

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				